

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成21年10月14日

**【四半期会計期間】** 第42期第2四半期(自平成21年6月1日至平成21年8月31日)

**【会社名】** 株式会社パスポート

**【英訳名】** PASSPORT Co.,Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 水野 純

**【本店の所在の場所】** 東京都品川区西五反田7丁目22番17号

**【電話番号】** 03(3494)4491(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役経理財務部長 奥村 純一

**【最寄りの連絡場所】** 東京都品川区西五反田7丁目22番17号

**【電話番号】** 03(3494)4491(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役経理財務部長 奥村 純一

**【縦覧に供する場所】** 株式会社ジャスダック証券取引所  
(東京都中央区日本橋茅場町1丁目5番8号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

提出会社の経営指標等

回次		第42期 第2四半期累計期間	第42期 第2四半期会計期間	第41期
会計期間		自平成21年3月1日 至平成21年8月31日	自平成21年6月1日 至平成21年8月31日	自平成20年3月1日 至平成21年2月28日
売上高	(千円)	6,918,568	3,348,969	14,879,586
経常利益	(千円)	161,951	46,315	15,361
四半期純利益又は当期純 損失( )	(千円)	154,403	1,543	215,254
持分法を適用した場合の 投資利益	(千円)	-	-	-
資本金	(千円)	-	369,266	369,266
発行済株式総数	(株)	-	5,270,000	5,270,000
純資産額	(千円)	-	1,170,989	1,015,424
総資産額	(千円)	-	6,411,545	6,541,255
1株当たり純資産額	(円)	-	231.79	200.99
1株当たり四半期純利益 金額又は当期純損失金額 ( )	(円)	30.56	0.31	42.61
潜在株式調整後1株当 たり四半期(当期)純利益 金額	(円)	-	-	-
1株当たり配当額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	-	18.3	15.5
営業活動によるキャッ シュ・フロー	(千円)	393,047	-	380,744
投資活動によるキャッ シュ・フロー	(千円)	96,010	-	78,665
財務活動によるキャッ シュ・フロー	(千円)	166,504	-	298,232
現金及び現金同等物の四 半期末(期末)残高	(千円)	-	710,427	387,873
従業員数	(人)	-	290	297

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 持分法を適用した場合の投資利益につきましては、関連会社が存在しないため記載しておりません。
- 3 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第41期においては、1株当たり当期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第2四半期会計期間において、重要な変更事項はありません。

## 4 【従業員の状況】

提出会社の状況

平成21年8月31日現在

従業員数(人)	290	(620)
---------	-----	-------

(注) 1 従業員数は就業人員であります。

2 従業員数欄の（外書）は、臨時従業員の当第2四半期会計期間の平均雇用人員であります。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 部門別売上状況

当第2四半期会計期間の部門別売上状況は次のとおりであります。

部門	売上高(千円)
(直営店売上)	
リビンググッズ	413,183
ダイニンググッズ	323,213
ライフファブリックス	1,908,000
バラエティグッズ	565,600
直営店売上	3,209,997
その他の売上	138,972
合計	3,348,969

- (注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2 上記各部門に含まれる品目は次のとおりであります。  
 リビンググッズ..... 小家具、照明具、時計、造花、花瓶、写真立て、プリンター等  
 ダイニンググッズ..... 和・洋食器、カトラリー、調味料入れ、キッチンツール等  
 ライフファブリックス... テーブルクロス、エプロン、パジャマ、タオル、ひざ掛け等  
 バラエティグッズ..... バストイレタリー、ステーションナリー、ぬいぐるみ、ポプリ等  
 3 その他の売上には、フランチャイズ店への商品及び用度品の卸売上、ロイヤリティ等が含まれております。

#### (2) 部門別仕入状況

当第2四半期会計期間の部門別仕入状況は次のとおりであります。

部門	仕入高(千円)
(直営店仕入)	
リビンググッズ	152,576
ダイニンググッズ	153,872
ライフファブリックス	776,164
バラエティグッズ	255,464
直営店仕入	1,338,077
その他の仕入	89,483
合計	1,427,561

- (注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2 上記各部門に含まれる品目は次のとおりであります。  
 リビンググッズ..... 小家具、照明具、時計、造花、花瓶、写真立て、プリンター等  
 ダイニンググッズ..... 和・洋食器、カトラリー、調味料入れ、キッチンツール等  
 ライフファブリックス... テーブルクロス、エプロン、パジャマ、タオル、ひざ掛け等  
 バラエティグッズ..... バストイレタリー、ステーションナリー、ぬいぐるみ、ポプリ等  
 3 その他の仕入には、フランチャイズ店への卸売上に係る商品等の仕入が含まれております。

## 2 【事業等のリスク】

当第2四半期会計期間における、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

## 4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

### (1) 経営成績の分析

当第2四半期会計期間におけるわが国経済は、昨年秋からの深刻な景気後退局面に、一部で底入れの兆しがあるものの、依然として企業収益は低迷しており、雇用と所得の環境に大きな改善は見られません。そうした中で、個人消費は更なる節約志向を強いられており、本格的な景気回復にはまだ時間を要するものと考えられます。

このような状況の中、当社では品揃え再構築と経営体質の改善に取組み、基本品揃えの店舗間格差是正のため、商品の自動発注の仕組みを導入して売上の機会損失減少に取組むと共に、雑貨業態本来のおもしろさや楽しさをもっと店舗で表現できるように、オリジナルの主力商品群の拡充に加えて、サブアイテムの仕入強化を図ることで、お客様の選択肢を広げることに努めました。店舗展開では不採算店の閉鎖を積極的にすすめ、直営店は「Passport」ブランドで5店舗を閉鎖し、1店舗を開設しております。その他「Passport」ブランドで直営店1店舗の改装を実施しております。

これにより、当第2四半期会計期間末の店舗数は、直営店が154店舗、フランチャイズ店が25店舗になりました。これらの結果、当第2四半期会計期間の売上高は3,348百万円となりました。また、経費削減による収益構造の改善に全社で取組んだ結果、販売費及び一般管理費が1,540百万円となり、営業利益は55百万円、経常利益は46百万円、四半期純利益は1百万円となりました。

### (2) 財政状態の分析

#### 資産

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて129百万円減少し、6,411百万円となりました。

流動資産は、前事業年度に比べて226百万円増加し、2,990百万円となりました。これは、主に現金及び預金が322百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度に比べて356百万円減少し、3,421百万円となりました。これは、主に減価償却により有形固定資産が88百万円減少したことと、不採算店の退店により敷金及び保証金が168百万円減少したこと等によるものであります。

#### 負債

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ285百万円減少し、5,240百万円となりました。

流動負債は、前事業年度に比べて143百万円減少し、3,686百万円となりました。これは1年内返済予定の長期借入金が増加する一方、1年内償還予定社債が265百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度に比べて142百万円減少し、1,553百万円となりました。これは長期借入金が312百万円増加する一方、社債が245百万円、役員退職慰労引当金が127百万円減少したこと等によるものであります。

#### 純資産

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べて155百万円増加し、1,170百万円となりました。これは、主に利益剰余金が増加したものであります。

#### (3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期会計期間における現金及び同等物(以下、「資金」という。)は、前四半期会計期間に比べ309百万円増加し、710百万円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は、286百万円となりました。これは、仕入債務の減少が313百万円あったものの、売上債権の減少が210百万円あったことやたな卸資産の減少が349百万円あったこと等によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用した資金は、16百万円となりました。これは、主に新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出等であります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって得られた資金は、39百万円となりました。これは、長期借入金の返済が43百万円、割賦債務の返済が51百万円あったものの短期借入金が34百万円増加し、長期借入金が100百万円増加したこと等によるものであります。

#### (4) 事業上及び財産上の対処すべき課題

当第2四半期会計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

第1四半期会計期間末(平成21年5月31日)現在において、実施中または計画中であつた設備の新設、重要な拡充等のうち、当第2四半期会計期間に完成したのは次のとおりであります。

事業所名 (所在地)	区分	完成年月日	売場面積(m <sup>2</sup> )	建物 (千円)	器具備品 (千円)	投下資本合計 (千円)
磐田ららぽーと店 (静岡県磐田市)	新設	平成21年6月23日	(169.84)	15,094	3,114	18,209
仙台長町ザ・モール店 (宮城県仙台市)	改装	平成21年7月18日	( )	7,080	3,205	10,286
合 計			(169.84)	22,175	6,320	28,496

- (注) 1 売場面積欄の( )は、賃借物件であります。  
2 仙台長町ザ・モール店は、当会計期間中に計画され、完成した改装店舗であります。  
3 上記の金額には消費税は含まれておりません。

当第2四半期会計期間に新たに確定した設備の新設、重要な拡充等の計画はありません。

## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	15,000,000
計	15,000,000

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成21年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成21年10月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,270,000	5,270,000	ジャスダック証券取引所	単元株式数は1,000株 であります。
計	5,270,000	5,270,000	-	-

#### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。



(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成21年 8月31日		5,270,000		369,266		292,300

(5) 【大株主の状況】

平成21年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社パスポートライフ	東京都杉並区和泉 1 50 11	1,008	19.14
水野 純	東京都江東区塩浜	673	12.78
水野 玄	東京都杉並区和泉	249	4.73
トランスグローバル マーチャндаイズ株式会社	東京都江戸川区臨海町 3 6 1	160	3.03
水野 睦子	東京都杉並区和泉	155	2.95
鈴木 忠光	東京都品川区荏原	118	2.25
小林 章	埼玉県東松山市松葉町	95	1.80
吉村 政雅	千葉県習志野市鷺沼	77	1.46
田中 卓磨	神奈川県横浜市旭区本宿町	63	1.19
株式会社みずほ銀行	東京都中央区晴海 1 - 8 - 12	60	1.13
計		2,661	50.50

(注) 当社が保有する自己株式(218千株 持株比率4.14%)は上記の表に含まれておりません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成21年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 218,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,039,000	5,039	-
単元未満株式	普通株式 13,000	-	-
発行済株式総数	5,270,000	-	-
総株主の議決権	-	5,039	-

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が4,000株(議決権4個)が含まれております。

2 単元未満株式には自己株式3株が含まれております。

【自己株式等】

平成21年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社パスポート	東京都品川区西五 反田7-22-17	218,000	-	218,000	4.14
計	-	218,000	-	218,000	4.14

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年3月	4月	5月	6月	7月	8月
最高(円)	138	115	125	157	161	157
最低(円)	106	110	110	117	122	139

(注) 最高・最低株価高は、ジャスダック証券取引所におけるものであります。

### 3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までの役員の異動はありません。

## 第5 【経理の状況】

### 1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表等規則」という。）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期会計期間（平成21年6月1日から8月31日まで）及び当第2四半期累計期間（平成21年3月1日から平成21年8月31日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

なお、有限責任監査法人トーマツは、監査法人の種類変更により、平成21年7月1日をもって監査法人トーマツから名称変更をしております。

### 3 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】  
(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期 会計期間末 (平成21年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	710,427	387,873
受取手形及び売掛金	674,779	618,155
商品	2 1,403,827	1,615,515
未着商品	3,802	9,425
その他	197,434	132,439
流動資産合計	2,990,272	2,763,409
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2 833,171	2 886,905
工具、器具及び備品（純額）	272,930	304,493
その他	2 15,554	2 18,932
有形固定資産合計	1 1,121,655	1 1,210,331
無形固定資産	44,794	43,083
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2 2,104,181	2 2,272,759
その他	150,641	251,671
投資その他の資産合計	2,254,822	2,524,431
固定資産合計	3,421,273	3,777,846
資産合計	6,411,545	6,541,255
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,825,045	1,758,304
1年内償還予定の社債	490,000	755,000
短期借入金	541,700	543,000
1年内返済予定の長期借入金	179,600	20,000
未払法人税等	25,453	41,094
賞与引当金	24,080	22,800
その他	600,870	689,753
流動負債合計	3,686,749	3,829,952
固定負債		
社債	710,000	955,000
長期借入金	392,200	80,000
退職給付引当金	163,121	153,192
役員退職慰労引当金	-	127,922
その他	288,485	379,764
固定負債合計	1,553,806	1,695,878
負債合計	5,240,555	5,525,830

	当第2四半期 会計期間末 (平成21年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	369,266	369,266
資本剰余金	292,300	292,300
利益剰余金	566,074	411,670
自己株式	60,368	60,368
株主資本合計	1,167,272	1,012,868
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,717	2,556
評価・換算差額等合計	3,717	2,556
純資産合計	1,170,989	1,015,424
負債純資産合計	6,411,545	6,541,255

(2) 【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)
売上高	6,918,568
売上原価	3,536,480
売上総利益	3,382,088
販売費及び一般管理費	3,189,843
営業利益	192,245
営業外収益	
受取利息	281
受取配当金	209
為替差益	1,092
破損商品等弁償金	1,455
雑収入	1,355
営業外収益合計	4,393
営業外費用	
支払利息	23,400
支払手数料	10,500
雑損失	786
営業外費用合計	34,687
経常利益	161,951
特別利益	
受取保険金	71,626
役員退職慰労引当金戻入額	129,641
特別利益合計	201,267
特別損失	
固定資産除却損	2,554
店舗閉鎖損失	43,003
商品評価損	87,071
社葬費用	8,095
特別損失合計	140,724
税引前四半期純利益	222,494
法人税、住民税及び事業税	14,800
法人税等調整額	53,290
法人税等合計	68,090
四半期純利益	154,403



【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
売上高	3,348,969
売上原価	1,753,480
売上総利益	1,595,489
販売費及び一般管理費	1,540,046
営業利益	55,442
営業外収益	
受取利息	54
受取配当金	206
破損商品等弁償金	592
為替差益	1,274
雑収入	892
営業外収益合計	3,021
営業外費用	
支払利息	11,787
雑損失	361
営業外費用合計	12,148
経常利益	46,315
特別損失	
固定資産除却損	2,477
店舗閉鎖損失	20,455
社葬費用	8,095
特別損失合計	31,028
税引前四半期純利益	15,286
法人税、住民税及び事業税	7,300
法人税等調整額	6,443
法人税等合計	13,743
四半期純利益	1,543

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	222,494
減価償却費	142,358
賞与引当金の増減額（は減少）	1,280
退職給付引当金の増減額（は減少）	9,929
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	127,922
受取利息及び受取配当金	490
支払利息	23,400
店舗閉鎖損失	43,003
固定資産除却損	2,554
受取保険金	71,626
売上債権の増減額（は増加）	56,624
たな卸資産の増減額（は増加）	217,311
仕入債務の増減額（は減少）	66,740
その他	23,012
小計	449,395
利息及び配当金の受取額	490
利息の支払額	26,396
法人税等の支払額	30,441
営業活動によるキャッシュ・フロー	393,047
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	47,075
敷金及び保証金の差入による支出	525
敷金及び保証金の回収による収入	72,761
その他	70,850
投資活動によるキャッシュ・フロー	96,010
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額（は減少）	1,300
長期借入れによる収入	550,000
長期借入金の返済による支出	78,200
社債の償還による支出	510,000
配当金の支払額	100
割賦債務の返済による支出	126,903
財務活動によるキャッシュ・フロー	166,504
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	322,553
現金及び現金同等物の期首残高	387,873
現金及び現金同等物の四半期末残高	710,427

【継続企業の前提に関する事項】

当第2四半期会計期間（自平成21年6月1日至平成21年8月31日）

該当事項はありません。

【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第2四半期累計期間  
(自平成21年3月1日  
至平成21年8月31日)

(たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更)

従来、商品の評価基準及び評価方法は、売価還元法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号平成18年7月5日公表分）が適用されることに伴い、当社の評価方法を見直したところ、売価還元法による低価法を採用することに変更いたしました。

当該、会計処理の変更にあたり、期首商品に含まれる変更差額（商品評価損）87,071千円を特別損失に計上しております。

この変更により、従来の方法に比較して営業利益及び経常利益は17,892千円減少し、税引前四半期純利益は104,964千円減少しております。

【追加情報】

当第2四半期累計期間  
(自平成21年3月1日  
至平成21年8月31日)

(役員退職慰労金制度の廃止)

従来、役員退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく要支給額を役員退職慰労引当金として計上しておりましたが、平成21年5月29日開催の臨時取締役会において、経営改善計画の一環として役員退職慰労金制度を廃止することを決議いたしました。

なお、本制度廃止に伴い、在任中の各取締役及び監査役の同意を得て打切支給を行わない旨決定いたしました。これに伴い「役員退職慰労引当金」129,641千円を全額取崩し、「役員退職慰労引当金戻入額」として計上しております。



【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第2四半期会計期間末 (平成21年8月31日)	前事業年度末 (平成21年2月28日)
<p>1 有形固定資産の減価償却累計額 2,434,273千円</p> <p>2 担保資産 担保に供されている資産のうち商品については、事業の運営において重要なものであり、かつ、前事業年度の末日に比べて著しい変動が認められます。</p> <p>建物 52,108千円 土地 15,554千円 敷金及び保証金 477,351千円 商品 1,150,947千円</p> <hr/> <p>合計 1,695,961千円</p>	<p>1 有形固定資産の減価償却累計額 2,501,016千円</p> <p>2 担保資産</p> <p>建物 53,831千円 土地 15,554千円 敷金及び保証金 461,513千円</p> <hr/> <p>合計 530,898千円</p>

(四半期損益計算書関係)

第2四半期累計期間

当第2四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
給料及び手当	1,058,724千円
賞与引当金繰入額	24,080千円
退職給付費用	18,424千円
役員退職慰労引当金繰入額	1,719千円
地代家賃	1,261,738千円
減価償却費	142,358千円

第2四半期会計期間

当第2四半期会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
販売費の主なもの	
給料及び手当	513,652千円
賞与引当金繰入額	18,330千円
退職給付費用	5,621千円
地代家賃	619,705千円
減価償却費	72,043千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年8月31日現在)	
現金及び預金勘定	710,427千円
現金及び現金同等物	<u>710,427千円</u>



(株主資本等関係)

当第2四半期会計期間末(平成21年8月31日)及び当第2四半期累計期間(自平成21年3月1日至平成21年8月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 会計期間末 (株)
普通株式	5,270,000

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 会計期間末 (株)
普通株式	218,003

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当会計年度の開始の日から当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前事業年度末日と比較して著しい変動がありません。

(リース取引関係)

所有権移転外ファイナンス・リース取引について通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理を行っておりますが、当四半期会計期間末におけるリース取引残高は前事業年度末に比べて著しい変動が認められないため、記載しておりません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度末と比較して著しい変動はありません。

(デリバティブ取引関係)

当四半期会計期間においては、デリバティブ取引の契約等はありませんので、該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

持分法を適用する関連会社がないため該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期会計期間末 (平成21年8月31日)		前事業年度末 (平成21年2月28日)	
1株当たり純資産額	231円79銭	1株当たり純資産額	200円99銭

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

	当第2四半期会計期間末 (平成21年8月31日)	前事業年度末 (平成21年2月28日)
純資産の部の合計額(千円)	1,170,989	1,015,424
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	-	-
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,170,989	1,015,424
期末の普通株式の数(千株)	5,051	5,051

2. 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額

第2四半期累計期間

当第2四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	30円56銭
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

	当第2四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	
四半期純利益(千円)	154,403
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	154,403
普通株式の期中平均株式数(千株)	5,051

第2四半期会計期間

当第2四半期会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	
1株当たり四半期純利益	0円31銭
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

	当第2四半期会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
1株当たり四半期純利益	
四半期純利益(千円)	1,543
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	1,543
普通株式の期中平均株式数(千株)	5,051

(重要な後発事象)

当第2四半期会計期間(自平成21年6月1日至平成21年8月31日)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年10月13日

株式会社 パ ス ポ ー ト  
取 締 役 会 御中

有限責任監査法人 ト ー マ ツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 城 戸 和 弘 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 原 井 武 志 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社パスポートの平成21年3月1日から平成22年2月28日までの第42期事業年度の第2四半期会計期間(平成21年6月1日から平成21年8月31日まで)及び第2四半期累計期間(平成21年3月1日から平成21年8月31日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社パスポートの平成21年8月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期会計期間及び第2四半期累計期間の経営成績並びに第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 追記情報

四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更のたな卸資産の評価基準及び評価方法の変更に記載されているとおり、会社は商品の評価基準及び評価方法を売価還元法による原価法から売価還元法による低価法に変更した。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。